

平成 25 年度 第 2 回二宮町地域公共交通活性化協議会議事要旨

開催日時	平成 25 年 8 月 28 日 (水) 14:00~15:30	
開催場所	二宮町町民センター 2 階 2A クラブ室	
主席者	委員	出席 15 名 (うち代理出席 3 名)、欠席 5 名
	その他	随行者 1 名、傍聴 3 名
	事務局	政策部 4 名、都市経済部 2 名、健康福祉部 2 名、コンサルタント 2 名
会議次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) デマンドタクシーの運行について (2) コミュニティバスの再編について (3) 既存路線バスの計画変更について (4) その他 4. 閉会	

協議会委員出席名簿

No	氏名	所属	出欠	備考
1	宮戸 健次	二宮町	○	
2	三木 健明	神奈川中央交通株式会社	○	代理 (平岩)
3	杉山 勝	相模中央交通株式会社	○	
4	山崎 利通	社団法人神奈川県バス協会	○	
5	露木 幸一	社団法人神奈川県タクシー協会	○	
6	樋口 徹雄	二宮町地区長連絡協議会	○	
7	芳賀 真郎	二宮町老人クラブ連合会	×	
8	小林 貴利	二宮町 P T A 連絡協議会	×	
9	神保 順子	二宮町議会議員	○	
10	高見 利和	一般公募	○	
11	依田 久司	一般公募	○	
12	中澤 延夫	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	○	
13	能登 一盛	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会	×	
14	村松 正敏	神奈川県平塚土木事務所	○	代理 (池田)
15	三枝 薫	神奈川県県土整備局	○	代理 (今井)
16	渡辺 康司	二宮町都市経済部	○	
17	黒沼 敏男	神奈川県大磯警察署	○	
18	山口 拓	J R 東日本旅客鉄道株式会社	×	
19	大森 宣暁	東京大学大学院工学系研究科	×	
20	佐久間 良輔	二宮町健康福祉部	○	

## 議事概要

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 議題

- (1) デマンドタクシーの運行について
- (2) コミュニティバスの再編について
- (3) 既存路線バスの計画変更について
- (4) その他

◎は副会長、○は委員、●は事務局の発言

#### ・議題（1）について

○ デマンドエリアの住民は、便利になるがこれまでのコミュニティバス乗車料金 150 円から個人の負担が大きくなることに対する意見が出ている。相乗りの割引率を見なおしてもらったことは、ありがたいことだが、1 人で利用した場合、これまでの計画で 350 円と言っていたのが 400 円になっているがなぜか。

● 地元から頂いた要望をもとに、事務局ではこれまでの「1 人で利用した場合 350 円。複数で予約した場合は 300 円/人」と今回の「1 人で利用した場合 400 円。2 人で予約した場合は 300 円/人、3 人で予約した場合は 250 円。4 人で予約した場合は 200 円。」の 2 つの料金システムの比較検討を行った。その結果、デマンドタクシーを地域公共交通として運行させる目的を考慮すると、より乗り合いを推進することができる料金システムの方が良いと判断した。1 人の場合を 400 円としたのも、1 人の場合と 2 人以上の乗り合いをした場合とで差を大きくすることで、乗り合い促進をしたいという考えである。

350 円でも 400 円でも町の負担が発生することには変わりはない。町の持ち出しを小さくし、尚且つ利用者の負担も小さくする観点から、乗り合いを推進することで地域の公共交通として維持していくことができると考えている。

また、町としては、赤字かどうかの判断は単純な収支だけではなく、当面は既存のコミュニティバスの町負担を超えない範囲で利便性が良くなることを目標としている。

既存コミュニティバスに対する町の委託費は現在約 1,200 万円/年となる。ここ数年の運賃収入は約 300 万円/年である。よって、約 900 万円/年を町が補填していることとなる。

今回のコミュニティバスのルート再編では、利便性が向上するため、利用者増加に伴う運賃収入の増加を見込んでいる。コミュニティバスの運行費補填を 600 万円/年にまで圧縮することができれば、既存の運行費補填額の 900 万円から圧縮された 300 万円でデマンドタクシー運行費を賄うことができる。

- 町の負担状況や利用料金との関係などの情報をもっと地区住民に情報提供していけば、地区の利用者の理解も進むと思う。
- 利用状況等については、随時地区住民の方に報告していくことを考えている。

- 乗り合いのルールについては、きちんと地元の方々に誤解の無いように説明していただきたい。乗り合いの割引料金の適用は、予約の際に、乗車する人数と料金が確定していることが前提である。別々の予約でたまたま偶然乗り合いになった場合は、割引料金の適用にはならない。利用者の料金は予め定められたものでないと、法的にも認められない。
- 地区ごとに個人の予約を取りまとめる事務局のようなシステムを作り、まとめて複数人の予約をすることは可能か。
- 1つの契約で複数人の予約をするという意味ではクリアできると思う。地区事務局とタクシー事業者で契約を行うやり方もあると思うが、そこまで手間をかけてできるのか疑問である。
- ◎ 法に触れるようなルールでは問題なので、しっかりと利用ルールを定め、周知を徹底する必要がある。
- 再確認であるが、1回の申し込みで同じ便に乗り合いをすれば割引となるのか。
- 1回の申し込みで、同じ便に複数人の申し込みがあれば割引が適用される。例えば、乗り場が異なっても申込時に10番停留所から1人、20番停留所から2人というように申し込み時に申請していれば割引が適用される。あくまでも申し込み時に代表者がまとめて行うことが必要であり、同じ便でもたまたま乗り合わせただけでは、割引は適用されない。1人で申し込んだ時点で、その人の料金は割引料金が適用されない400円に確定される。
- ◎ 利用案内資料には、ケースごとに例示し、割引料金に誤解が生じないように十分注意する必要がある。
  
- 運行事業者の選定についてはどのように決定するのか。
- このデマンドタクシーは、現状二宮駅前で昼間待機しているタクシー車両を有効活用することで運行経費を抑えている。現在、二宮駅に乗り入れをしていない事業者では、タクシーを遠い場所から配車することになるので、この運行費で事業実施することは難しい。また、今年度は実験的に実施するが、本格実施の際には、国からの補助も視野に入れており、契約は町と事業者ではなく、当協議会と事業者で行うことを考えている。
  
- デマンドタクシーの利用者の幅を広げるためにも、是非、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進をお願いしたい。
  
- 登録はいつ頃から開始する予定なのか。
- 10月初旬を目標に対象地域に全戸配布を考えている。
- 申し込みは随時行うのか。
- 随時募集をしていく。
  
- コミュニティバスの運行を変更する釜野地区への説明は終わっているのか。
- まだ実施していないが、本日の結果も含めて説明会等周知方法を地元地区と相談していきたいと思う。

- この計画では、コミュニティバスとデマンドタクシーの事業費を合わせ、町の負担をどの程度と考えているのか。
- 現状のコミュニティバスの町補填が毎年約 900 万円/円となっている。当面は、この額を超えない範囲でコミュニティバスとデマンドタクシーの2種類の運行に分けて、それぞれ現状よりもサービス水準を高め、利用者にとってより便利な公共交通になることを目指している。内訳としては、コミュニティバスの補填が 600 万円/年、デマンドタクシーの補填が 300 万円/年と考えている。
  
- ◎ 本日の議題は以上であるが、議論していただいた「(1) デマンドタクシーの運行について」、「(2) コミュニティバスの再編について」、「(3) 既存路線バスの計画変更について」、この協議会で承認し、本日の意見を踏まえて進めていただくが、いかがか。
- 全員異議無し -
- ◎ 承認いただけただけということで、10月下旬にデマンドタクシーの運行開始を目指して事務局は、作業をよろしくお願いします。

以上